

国体少年男子連覇



2017年10月1日から4日まで愛媛県宇和島市・鬼北町で「笑顔つなぐえひめ国体」バスケットボール競技少年男子の部が開催され、京都府代表チームは見事優勝、昨年に続き連覇しました。インターハイ京都府予選優勝の東山高校に洛南高校の選手を加えた選抜チームは、2日の2回戦が初戦で、山口県に98-71と危なげなく準決勝に進みました。準決勝は宮城県と対戦、終始リードし89-72で決勝を迎えました。

決勝は、福岡県と対戦し、第1Pリードしたものの前半終了時は逆に1点差をつけられました。第3P終了時ようやく同点、第4Pに引き離し、97-85で優勝、バスケットボール総合成績5位入賞も果たしました。

なお、成年女子の部は今治市にて都道府県対抗で行われ、大学生を中心に選抜された京都府代表は東京都と対戦、初戦敗退しました。

<成年女子>

1回戦 京都府 45-86 東京都

<少年男子>

準々決勝 京都府 98-71 山口県

準決勝 京都府 89-72 宮城県

決勝 京都府 97-85 福岡県



国体祝賀会盛大に開催

10月22日台風が接近する中、京都タワーホテルにおいて行政、体協OB、保護者等の関係者約100名が出席のもと愛媛国体で連続優勝という輝かしい成績を残した「少年男子国体V2祝賀会」が選手、スタッフが参加し盛大に開催されました。

兒玉幸長代表理事・会長の挨拶に続き、京都府体育協会の武田暹会長の祝辞など多くの方々から賞賛のご挨拶が続きました。

吉田裕司監督が選手一人一人の活躍を紹介され、B. b a l lから選手に素晴らしい記念品が届きました。

京都の団体種目で優勝は2チームのみ、今年も貴重なバスケットボールの優勝でした。

合同チームで素晴らしい成果を上げた選手たちの今後の活躍に期待したいと思います。

29年度補正予算が成立

10月14日一般社団法人京都府バスケットボール協会理事会において平成29年度の協会補正予算が成立いたしました。

「収入の部」では、全日本選手権大会主管委託料及び全日本3次ラウンド事業収入で約500万円の増、また、「支出の部」では大会等事業費、振興費、会議費等で収入増に見合う支出の増額が補正されました。

補正詳細は下表のとおりです。



少年男子 チーム

- |       |                         |               |
|-------|-------------------------|---------------|
| 監督    | 吉田 裕司                   | 洛南高校          |
| コーチ   | 小野 大輔                   | 福知山成美光孝       |
| コーチ   | 大澤 徹也                   | 東山高校          |
| トレーナー | 日暮 恭子                   | ブライトボディ       |
| 4     | 鱒 拓真 (東山)               | 5 南 天仁 (東山)   |
| 6     | 津田 誠人 (洛南)              | 7 小西 聖也 (洛南)  |
| 8     | 田中 智也 (洛南)              |               |
| 9     | カロンジカボンゴ パトリック (東山)     |               |
| 10    | 吉田 竜丸 (東山)              | 11 狩野 皓介 (東山) |
| 12    | 大橋 大空 (洛南)              | 13 飯尾 文哉 (洛南) |
| 14    | 納土 修汰 (洛南)              |               |
| 15    | グランダムペラモゾンボ クリスティン (東山) |               |

収入の部	(単位千円)
受託事業収入	2400
事業収入	2500
支出の部	
大会等事業費	3550
受託事業費	200
振興費	830
会議費	200
予備費	200

## 京都の女性審判2名S級昇格

### S級審判に昇格して

小出聡子

2018年度より、S級審判として活動させていただくことになりました、中体連所属の小出聡子です。2017年4月にA級審判への昇格を協会紙面でご報告させていただきました。引き続きS級審判への昇格をご報告させていただけることを大変嬉しく感じますと共に、日頃の活動を温かく見守り、ご支援いただいている皆様に感謝いたしております。また同時に、S級審判として活躍されておられる諸先輩方の姿を思い浮かべ、自分がその立場として活動するのだと考える度に、責任の大きさに身の引き締まる思いであります。

A級審判になってからの活動は、これまで私が経験してきたものから大きく変化しました。その経験の中でも特に大きく影響を受けたものは何かと考えますと、やはりWJBL公式戦を担当する機会を与えていただいたことが第一に挙げられると思います。同じクルーとして試合に臨む審判員の方々は、試合の前に両チームの前週の試合を分析し、チームスタッツを振り返り、クルーが以前に担当した試合を確認するなど、試合に臨むための準備に時間を惜しむことなく、真摯に取り組んでおられました。その姿を目の当たりにした時、私は大きな衝撃を受けました。試合に臨む心構えと準備、試合後の反省に至るまで、「一つの試合」にかける気持ちや姿勢というものを、先輩方の背中から直に学ぶことができたと感じております。そこから、もう一度自分自身の活動を振り返りました。その中で、これまでの私は、試合の前に「できる範囲」の準備をしていたに過ぎないのではないかという考えが浮かびました。もちろんこれまでも、精一杯やっているつもりではおりましたが、今後自分の「できる範囲」を広げていくために、改善できることは改善し、今の自分に「できる限り」のことに挑戦していきたいと思っております。正直に申し上げますと、まだまだ不安の方が心の多くを占めている状況ではございますが、一日でも早く目標とする審判の姿に近づけるよう努力していきます。また、大切な試合を任される責任やS級審判として求められることの大きさを十分に感じながら、より一層の覚悟を持って一つ一つの試合と向き合っていきたいと思っております。



もちろん、様々な試合を担当することに不安がないとは言いきることはできませんが、選手と一緒にコートに立たせていただく以上は、選手同様にコンディションを整えて試合に臨むことが自分の責任と考えます。そして、選手も観客の方々も、バスケットボールの試合に集中し、バスケットボールを楽しむことができるような試合を作る、その一員になればと思います。

恩師の言葉の中に、「感謝・謙虚・協力・向上心」という言葉があります。私は、この言葉を胸に、今後もより精進していく覚悟であります。また、微力ではありますが、京都バスケットボール協会、そして京都のバスケットボールの発展のために力を尽くしてまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



高野杏実

今年度より、日本協会公認S級審判員に昇格いたしましたので、謹んで報告いたします。石川県の高校を出て、大学入学と同時に京都

府所属審判員として活動させていただきました。その中で、京都府バスケットボール協会に多くの成長のヒントやきっかけを与えてもらい、S級審判員として活動させていただくことになったと感じております。

7年間、京都の審判員としてバスケットボールに携わることができて、多くの方々との縁に恵まれました。大学時代、何をやるのも後ろ向きで、苦手なことや出来ないことから逃げようとする性格でした。京都での審判活動を通して、さまざまな人と出会い、逃げては何もできるようにならないこと、後ろ向きな気持ちでは、何も達成できないことに気づくことができました。バスケットボールの試合会場にいくと、いろいろなお話を聞かせてもらえたり、時には叱ってもらえたり、さまざまな経験をできたりし、大学生から人間として大きく成長できたこと、本当に感謝しております。そして、その出会い一つ一つが私にとって大きな宝物だと思っております。これからも、バスケットボールに携わっていく中で、さまざまな経験をさせていただくと思います。時には辛いと感じてしまうこともあると思いますが、今では、経験の一つ一つを自分の成長のきっかけに変えられるように、前向きに真正面から向き合っていこうと思えるようになりました。

今年度からS級審判員として活動させていただくことにはなりましたが、私の審判は、私自身

がイメージするS級審判員とは大きなギャップがあります。昨年度も、よりよいゲーム作りを意識して、多くのゲームを担当させていただきましたが、自分自身の力の足りなさを感じる場面が多くありました。私は、審判員の大きな役割は、試合に携わった方々全員が平等に、バスケットボールに集中して、楽しんでもらえるような環境作りをすることだと考えております。そのために、審判員としての判定力や技術の理解など、まだまだ向上できるところがたくさんあると感じています。その日、その時の試合で、試合に携わった方に、「今日の試合は楽しかった。」「自分の力が出し切れた。」と思ってもらえる試合を目指して、これからも活動して参ります。

最後になりましたが、京都府のバスケットボールに関係する皆様には、日頃より、たくさんお世話になり、本当にありがとうございます。これからも、京都府のバスケットボールの発展のために精一杯取り組んでまいりますので、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

### F I B A コミッショナー誕生

FIBA Commissioner になって



岩木太郎

2017年9月より私はFIBA コミッショナーの認定を受けました。今は喜びと不安が共存した心境というのが正直なところです。

4年前にJBAよりコミッショナー受験の機会をいただきましたが、受験日程が自チームの大会と重なり、前回は辞退させていただきました。今年にFIBAの制度が変更になり、3月に再度受験機会をいただき、インターネットによるルールテストを受験して、日本からは私を含めて6名が合格となりました。

コミッショナーは、国際大会等でテーブルオフィシャルの任務を監督して審判とスムーズな連絡を取りあう役目を担います。まだその機会はありませんが、より高いレベルのゲームにその一員として参加できることは本当に素晴らしいことです。

ご存知のように、京都府は国際審判をはじめとして多くの名審判を輩出してきた歴史があります。私もかつて国際審判を目指していましたが、残念ながらその夢は叶いませんでした。しかしながら、AA(現S)級になり、海外での研修機会を与えていただいて世界のバスケットボールに触れるたびに、新たな魅力や裾野の広さを感じているところでした。

コミッショナーの立場では、今までとは少し違った面からバスケットボールを見て学ぶことができると期待しています。またその経験は現役審判として、判定にも生かせるものがあると考えています。もちろん、またとない巡り合わせである2020年の東京オリンピックも目標として挑んでまいります。

あとになりましたが、このようなチャンスを与えていただいたJBAに感謝を申し上げるとともに、日頃からバスケットボールに対する活動を理解し、支えていただいている京都府協会、審判仲間、職場、生徒や保護者等多くの方々、そして家族により一層、感謝の気持ちを持って取り組む所存です。

今後ともご指導のほど、よろしくお願いいたします。

### J B A 改革の推進体制

JBAから都道府県協会への様々な改革へ向けた連絡が次々と届いています。京都府協会ではこれらに対応するため、プロジェクト会議を編成しそれぞれ円滑に推進するよう取り組んでいます。現在のPT会議及びスタッフを紹介します。

各チーム・登録者のみなさまには、逐次JBAにもとづく京都府協会の改革を伝えて参ります。御協力いただきますようお願いいたします。

ご来店お待ちしております!!

**B.Bball**  
CAGERS COLLECTION

〒600-8103 (前店館増設所)  
京都市下京区五条海町東入ル

営業時間AM10:00~PM8:00 TEL (075)352-3905  
定休日 毎週火曜日(祝日は除く)

各種PT一覧

PT名	担当	氏名		
totoPT	総括	小林雄二		
	副総括	橋本雅子		
	指名委員	西垣吉朗	浜田裕三	
		岩崎広行	南條良樹	
指導者PT	総括	橋本雅子		
	副総括	小林雄二		
	指名委員	伊藤昌也	志水伸之	上田健介
		松浦祐子	西田和史	
D-fundPT	総括	湯浅暢宏		
	副総括	西井 功		
	クラブ連盟	小林雄二	西垣吉朗	
	実連	麓 信之	石郷岡利明	
	女性連	橋本雅子	大塚和子	
	大学	渡邊直裕		
	高校	山下直哉	紀平武宏	
	中学	山口達也	山崎康平	
	ミニ連	塩内公博	藤田一恵	
	総合調整	浜田裕三		
	総務部	古市保子		
	財務部	岩崎広行		
	競技部	庄田雅一		
	強化部	西田和史		
	振興普及部	久田誠次		
	3×3部	堤 隆司		
	審判部	田中 明		
Bリーグ 観客動員 PT	クラブ連盟	西澤文夫		
	実連	麓 信之		
	女性連	山本理恵		
	大学	渡邊直裕		
	高校	川北佐知雄		
	中学	上村武志		
	ミニ連	野村晴美		
	Bリーグ	麻生卓志		
WC在り 方PT	総括	吉田裕司		
	副総括	西井 功		
	指名委員	柴田宗男	岩崎広行	岩崎健太
		伊藤 久	庄田雅一	紀平武宏
		麻生卓志		

社会人連盟設立準備部会 メンバー一覧

社会人連盟 設立 準備部会	クラブ連盟	★小林雄二	浜田裕三	熊谷友治
		田中 明		
	実連	★麓 信之	安藤久明	石郷岡利明
	女性連	★橋本雅子	中西仁美	林 綾
		山本理恵		
教員	☆福井真介	木村 励	松下 彩	
協会	湯浅暢宏	西井 功		

☆：部会長 ★：副部会長

アンダーカテゴリー準備部会 メンバー一覧

部会	担当	氏名		
U-12 準備部会	担当理事	西井 功		
	ミニ連	☆原田勝之	西村和穂	中川勝彦
		曾我保英		
U-15 準備部会	担当理事	橋本雅子		
	中学連	☆山口達也	藤堂研介	山崎康平
U-18 準備部会	担当理事	吉田裕司		
	高体連	☆山下直哉	岩崎健太	紀平武宏

☆：部会長

大学競技会実施委員会準備部会 メンバー一覧

部会	担当	氏名		
大学競技会 実施委員会	総括	湯浅暢宏		
	学連	渡邊直裕		

京都ハンナリーズ  
天皇杯・皇后杯全日本選手権  
ファイナルラウンド進出

11月25・26日、全国8会場で開催された第93回天皇杯第84回皇后杯全日本バスケットボール選手権大会3次ラウンドは京都でも開催し、京都ハンナリーズは25日島津アリーナ京都（京都府立体育館）で同じ西地区の島根スサノオマジックと対戦しました。10月B1リーグホームゲームで連勝した島根に71-63で勝ち、翌26日にアルバルク東京とファイナルラウンド進出を掛けて対戦しました。竹内譲次選手はじめ日本代表選手の3名が国際ゲームのため欠場した東京に全力で立ち向かったハンナリーズは70-66で勝利、1月4日さいたまスーパーアリーナで行われる準々決勝に進出しました。

天皇杯獲得目指し健闘する京都ハンナリーズを是非応援してください。

